

町立厚岸病院から ～これからも地域医療と福祉を 支えます～



●問い合わせ／町立厚岸病院 ☎52-3145

■平成29年度患者数・決算状況

(単位：人)

入院患者	12,522
内科	11,248
外科	1,269
小児科	5
外来患者	48,487
内科	27,913
外科	5,262
小児科	7,935
整形外科	6,697
脳神経外科	680

(単位：千円)

内 訳	金額
病院事業収益	1,264,908
医業収益	890,103
入院収益	309,665
外来収益	386,849
その他医業収益	61,563
負担金	132,025
医業外収益	374,805
患者外給食・その他医業外収益	127,454
他会計補助金・負担金	247,351
病院事業費用	1,219,790
医業費用	1,145,515
給与費	707,698
材料費・経費	336,569
減価償却費・資産減耗費	98,689
研究研修費	2,560
医業外費用	74,275
支払利息及び企業債取扱諸費	41,986
医療技術員確保対策費	17,345
雑損費及び長期前払消費税勘定償却	14,943
当年度純利益	45,118

※表示単位で四捨五入しているため合計額等は一致しません

町立厚岸病院は、地域の中核的な医療機関として、内科、外科、小児科の3科を基本に整形外科および脳神経外科の定期診療と、24時間救急医療の診療体制を守り、患者さんの目線で未来を支える地域医療を進めています。

日本は超高齢社会となり、いわゆる団塊の世代が全て75歳以上になる2025年を見据えた、医療制度を含むさまざまな改革と総合的な人口減少対策を進めています。

なかでも、まちを支える世代が住み慣れた地域で安心して仕事と子育てのできる暮らしと、産業を未来に引き継ぎ、豊かな老後を過ごすことができるまちづくりには、地域医療の確保と充実は大きな要となります。

私たちが暮らすこのまちに入院施設と老健施設を併せもった町立病院

があることは、まちづくりに大きな役割を担っています。

また、乳幼児検診から一般健診まで希望に応じた各種健診による早期疾病の発見と、健康づくり事業と連携した各種予防接種の推進や、健やかな生活を送るための健康講話や医療講演会を開催するなど、健康維持・予防への取り組みにも力を注いでいます。

『人生100年時代』と言われるようになった今日、高齢者から若者まで、全ての人が元気に活躍し続けられる社会の構築が求められています。

私たちの地域においても今まで以上に元気な高齢者が増え、各種制度の支えの下でいきいきと生活できるよう、医療と看護、リハビリテーションの充実など体制維持に努め、福祉施設と連携しながら在宅での生活全

般を支援します。

平成29年度の 病院事業運営状況の概要

平成29年度における病院運営は、内科医師が10月末で1人退職となり、11月から3月までは内科2人、外科1人、小児科1人の常勤医4人体制での診療となりました。退職が年度途中であったことで容易には補充ができず、その間は短期非常勤医師を充てることで外来診療と救急医療への影響を最小に抑えたところです。

また、北海道や医育大学、関係医療機関からの支援を受けて、予約診療や消化器検査の円滑な受診体制を確保してきました。さらに、町民の皆さんから要望の多い整形外科診療は釧路赤十字病院から毎週1回、脳神経外科診療は釧路労災病院から隔週1回の定期派遣を継続できました。

不採算医療の確保と継続

町立病院は公営企業という観点から、経営にあつては独立採算を求められる企業です。しかし、町立病院は自治体病院でもあり、地域で必要とされる医療の中でも民間の医療機関が提供困難な分野である、へき地医療や24時間救急医療、高度医療などを確保し提供する使命と役割を担っています。

こうした医療は『不採算医療』と呼ばれ、この体制を維持するために国からの交付金のほか、町からの財政